# DUNLOP NEXT CUP
## MIZUNAMI SPECIAL ROUND

■開催日：8月6日　■天候：晴れ／DRY　■参加：19台

# 堀尾風允、大逆転で優勝！チャンピオン＆シリーズ全勝に王手!!

EXGEL新東京シリーズ、ThreeBond神戸シリーズとして東西で開催されてきたダンロップネクストカップ。各コースシリーズを終え、いよいよ東西の選手が一同に集い、シリーズチャンピオンを競う瑞浪ラウンドが、8月6日に開催された。

今季は、東西両地域シリーズを終え、今回の瑞浪スペシャルランド、そして11月に同じく瑞浪で行われる最終戦を持ってシリーズタイトルを決することとなる。さらに、瑞浪の2大会では決勝のシリーズポイントが通常の1.5倍とされ、予選と合わせると、1大会で47.5Pが獲得できるため、シリーズ終盤に入りランキングの大変動も十分に考えられる。

瑞浪2連戦を迎える時点で、総合ランキングトップとなっているのは神戸シリーズを全勝で終えた堀尾風允。堀尾は予選も負け知らずだったため、神戸フルポイントの105Pをもって瑞浪へと駒を進めた。総合2番手には新東京シリーズトップの皆木駿輔が98Pで続く。皆木も優勝こそ1回にとどまったが、予選＆決勝ともに常にトップ2に入る活躍で、十分に逆転可能なポイント差だ。

今大会には新東京のレギュラードライバー7名、神戸のレギュラードライバー10名、さらにスポットで全日本OKドライバーの上原拓和、平川真子が加わり、19名が参加した。大会当日は朝から快晴となり厳しい日差しにより気温も上昇。ドライバーにとっては厳しいコンディションとなった。

1周計測のタイムトライアルでは、最初のグループで出走した坂入悠斗が51.126をマーク。坂入は総合ランキング3番手と、まだまだタイトル争いの渦中にいる。各ドライバーはこのタイムをターゲットにアタックするが、最後まで逆転できず、

# DUNLOP NEXT CUP　MIZUNAMI SPECIAL ROUND

坂入がポールポジションを獲得。2番手に川福健太と新東京勢がフロントローを占め、3番手に神戸の清水跳馬。皆木は4番手とまずまずの位置につけるが、堀尾はまさかの11番手と苦戦を強いられる。

予選では皆木がトップチェッカー。堀尾は8番手まで挽回するも、上位進出は難しくなってきた。

迎えた決勝、ホールショットは皆木が獲得し、清水、親川謙心、川福、中村洋司、堀尾と続く。序盤は親川がトップに出て集団を引っ張っていくが、7周目に堀尾がトップに浮上。その堀尾に挑んだのが川福。12周目にトップを奪うと、堀尾を抑えたまま周回を重ねていく。最終ラップ、タコツボコーナーで川福のインに飛び込んだ堀尾が逆転。さらに立ち上がりで中村も2番手に上がり、堀尾、中村、川福の順でチェッカー。堀尾は開幕4連勝を飾り、中村、川福はともに今季初表彰台となった。またTTトップの坂入、決勝ファステストラップの宇田川武嗣にも特別賞が贈られた。

今回の優勝により、堀尾の獲得ポイントは145.5となり、タイトルに王手。ランキング2番手には今回6位だった皆木が130.5Pで続き、タイトル争いはこの両者に絞られた。ただし、皆木が逆転するには、最終戦で堀尾がノーポイントに終わり、皆木が予選＆決勝を制してフルポイントを獲得しなければならず、タイトル争いは堀尾が圧倒的優位に立って最終戦を迎えることとなる。

DUNLOP NEXT CUP MIZUNAMI SPECIAL ROUND

| Pos. | No. | Driver | Team | Frame | Engine | Tire | Q.P. | Q.H. |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ㉕ | 堀尾風允 | KR ファクトリー | Birel TIA | IAME REEDJET | DL SL98 | 51.498 ⑪ | 8 |
| 2 | ⑭ | 中村洋司 | チーム近藤レーシング with Nankai RT | Birel TIA | IAME REEDJET | DL SL98 | 51.412 ⑧ | 3 |
| 3 | ④ | 川福健太 | FLAX@ ネオスピードパーク | Birel TIA | IAME REEDJET | DL SL98 | 51.181 ② | 4 |
| 4 | ⑦ | 宇田川武嗣 | KBF | Birel TIA | IAME REEDJET | DL SL98 | 51.407 ⑦ | 12 |
| 5 | ㉗ | 親川謙心 | TIGRE | Birel TIA | IAME REEDJET | DL SL98 | 51.435 ⑨ | 6 |
| 6 | ⑤ | 皆木駿輔 | K.SPEED WIN | Birel TIA | IAME REEDJET | DL SL98 | 51.234 ④ | 1 |
| 7 | ㉑ | 清水跳馬 | PEGTOP with KENT | Birel TIA | IAME REEDJET | DL SL98 | 51.214 ③ | 2 |
| 8 | ㉘ | 松村浩之 | S.S.C | Birel TIA | IAME REEDJET | DL SL98 | 51.513 ⑫ | 5 |
| 9 | ⑰ | 平川真子 | TAKAGI PLANNING | Birel TIA | IAME REEDJET | DL SL98 | 51.313 ⑤ | 11 |
| 10 | ⑩ | 上原拓和 | K.SPEED WIN | Birel TIA | IAME REEDJET | DL SL98 | 51.349 ⑥ | 10 |

## 1st：堀尾風允

KR ファクトリー

自分でも、今回は勝てるとは思っていなかったです。苦しレースでしたが、バトルに慣れば負ける気はしなかったです。決勝は、最初の目標がトップ集団に入ることで、そうすればバトルにもなって狙えるかなと思っていました。その狙い通りになって良かったです、今回は本当にめちゃくちゃ嬉しいです。最終戦も、もちろん勝ちにいきます。

## 2nd：中村洋司

チーム近藤レーシング withN-RT

今まではほとんど一人でやっていたのですが、今回は地元の近藤レーシングにお願いして、ずっと走りやセッティングをみてもらい、自分は乗るだけに集中できる環境にしてもらえたので、それで2位を獲得できました。最後の1周が悔しいので、最終戦ではリベンジしたいなと思います。

## 3rd：川福健太

FLAX @ネオスピードパーク

ファイナルラップは自分がブロックすれば勝てるのはわかっていたのですが、ほんの少しのスキも堀尾選手は見逃さないというか、きっちりやられてしまったのは自分の甘いところだなと思いました。彼が上手でした。ただ、表彰台までの道のりが長かったので純粋に嬉しいですし、いいレース、バトルができて楽しめました。今回はレンタルカートの仲間も観ている中で、レーシングのトップで戦っているドライバーを相手に通用するところを見せられたのが一番良かったです。